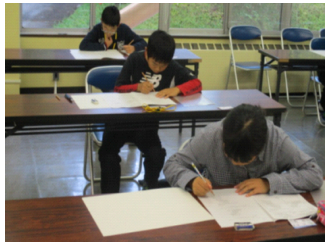


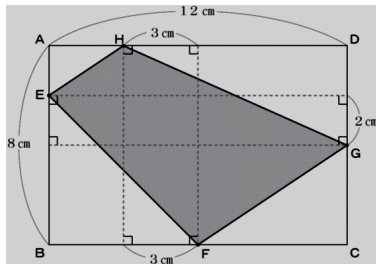
## 「算数・数学Jr, オリンピック」

10月21日(日)に、県内7地区の会場で小学5・6年生、中学生を対象とした「福島県算数・数学ジュニアオリンピック」が開催されました。過去最多となる、1423人が参加しました。域内においても、南会津合同庁舎の会場で、小学生6名、中学生3名の参加があり、難問に挑戦しました。

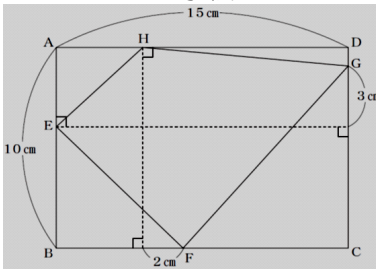
域内の会場で参加した児童生徒の感想を見ると、「学校とは違った難しい問題が出て、もっと挑戦してみたいと思った。」「自分の力を最後まで試すことができてよかった。次はもっと高い得点をとる。」「参加してみて、ここまで難しい問題を作る人がいるということに感動しました。」などがありました。



規則性を見だして活用する力や論理的思考力、発想力、直感力などが求められる難問が出題されました。その中で、小学校と中学校に共通して四角形の面積を求める問題が出題されました。



<小学校>



<中学校>

ともに、長方形ABCD内の四角形EFGHの面積を求める問題で、小学校の問題は補助線あり、中学校の問題は補助線なしという違いだけの問題です。これだけで思考過程が複雑になり、小学生の問題が、中学生を悩ませる問題へととなります。

また、今回で7回目を迎えた算数・数学ジュニアオリンピックですが、南会津域内から初の入賞者が同時に2人出ました。

銀賞 下郷町立榎原小学校 渡部 泰蔵 君  
銅賞 南会津町立南郷小学校 五十嵐大起 君  
です。

本当におめでとうございました。

## 校内服務倫理委員会の活性化に向けて ～域内服務倫理対策会議～

本年度、懲戒処分として通知があった件数は13件(内、交通事故関係5)でした。その中には域内に勤務経験のある教員の処分があり、例年以上に「自分事」として考えさせられました。

そのような中、不祥事防止に向けた本年度2回目の域内服務倫理対策会議を11月6日に開催しました。

最初に、下郷町立榎原小学校と南会津町立荒海中学校より実践報告をいただきました。榎原小学校は、校内服務倫理委員会の外部委員としてPTA会長を委嘱し、特に公金の管理についてご意見をいただく機会を設けていました。また、町雇用のSCによる教職員の研修会を開催し、児童理解、アンガーマネジメント等について学び、体罰等の未然防止に努めていました。荒海中学校では、より効果的な校内委員会の開催のため「職員間で話し合う機会を多くする」ことを基本に、ランキング法を取り入れた研修について報告いただきました。



実践報告を受け、班別での情報交換を以下の観点で行いました。

- 「自分事としてとらえさせる取組」
- 「外部の意見を取り入れる取組」
- 「その他、効果的な取組・特色ある取組」

情報交換では、

- ・ヒヤリハット体験発表
- ・自作事例での班別協議
- ・PTA 常任委員会での服務倫理委員会の開催
- ・不祥事防止の標語作り
- ・ヒヤリハットだけではなく、「ホット」(良かったこと)したことも広める。



など、各校での特色ある取組が話し合われました。今回の会議をもとに、各校の服務倫理委員会の活性化を図り、不祥事根絶を期してください。

学校事故防止研究協議会の折に各校の教頭先生



方に作成していただいた「域内危険箇所マップ(道路)」を校長先生方に再確認していただきました。冬季の交通事故防止に向け、ご活用ください。